

## 教育・保育内容研修会

受講者感想抜粋 (2023. 5. 30)

- 他園の発表を聞いて、いろいろな発見や学びがあり真似をしようと思った。発達に対しての遊び方を知ることができて、とても良い勉強になった。自分の悩みを話して他園の先生方と解決できて良かった。保育者がワクワクして子どもと接していると子どももワクワクしながら保育を楽しめると言われていたので明日からも自分がワクワクしながら、子ども達と接して保育をしていきたい。
- 2歳児になってから、ズボン・パンツの着脱を自分でしない子が多くなったので、ゴムの入っているスカートを遊びの中で取り入れてみようと思った。また、手遊びや、ダンス等身体を動かして遊びもやってみたいと思う。
- 他園の先生方とのディスカッションで、共通する子どもの姿があり、工夫されている話を聞かせていただけてとても勉強になった。栗岡先生のお話から、いかに0～2歳児の間に成長の土台を築けるのかということを考える機会をいただいた。0・1・2歳児の職員で、今日学んだことを共有し、ワクワクしながらあたたかいかかわりをしていきたい。
- 0・1・2歳児それぞれの困り感や今遊んでいること、子ども達の姿を見ることができて、とても勉強になった。知らない人とでもコミュニケーションが取れる楽しい活動も知ることができて、今後生かしていけたらと思った。0・1・2歳それぞれ育まなければいけないことや発達段階を保育者が理解し、子ども達に応じた遊びを取り入れられるようにしていきたい。
- 各園の保育内容を見て、未満児の子どもの遊びが分かり、日頃の保育でも取り入れていきたいと思った。私自身、1年目で何も分からないが、他園の遊びや「だいじょうぶ？ズコッ」の手遊びはすぐ実践したい。グループワークで出た遊びも実践して試していきたい。
- 他園の話を知ると同じ月齢の先生たちも困っていることが同じだったので、相談することができて良かった。保育者がまず楽しんで遊べるようにする。注意しがちなことが多いが、それを逆に遊びに変えて「できた」が増えるように工夫する必要がある。子どもの困り感を捉え、育ちにかえていくことができる保育者になっていきたい。
- 3～5歳児へ向けての生活の基盤や情緒の安定の大切さを改めて感じた。保育者の訴求力や作業興奮力、目標コミット力をしっかり踏まえながら、子どもの発達をしっかりとみつめこれからも保育していきたい。グループワークでの話し合いでは、その年齢特有の困りごとを話し合うことができ、アドバイスも貰えてよかった。未満児は3歳児以降の発達の基盤になるように保育をしていきたい。
- 初めての研修会でとても緊張したが、後半はとてもリラックスして研修を受けることができた。同じ年齢でも園が違えばやっていることも違って、新人の私にとってはとても勉強になった。2部でやったカードゲームでも脳や記憶力がとてもよく働いてとても楽しかった。この研修会を生かして明日からの保育に繋げていきたいと思った。
- 事前資料についてアドバイスをいただき、楽しい手遊びやふれあい遊びなど教えていただいたので園でも実践していきたいと思う。発達に合わせた遊びが大切なのはわかってはいたが、具体的にどういう遊びがどういう発達に繋がるのか詳しく教えていただいたのでとても勉強になった。